

JR東海労なごや

2013年6月23日 No. 970

JR東海労名古屋地方本部

発行者：山田哲也

編集者：堀部肇

人事異動にあわせて寄せられる内部告発！ この会社は動脈硬化が始まっている！！

JR東海労本部事務所や名古屋地本事務所には、メールの書き込みや郵送で様々な情報が来ています。全ては明らかにはできませんが、会社施策に対する批判や職場内でのイジメなどが匿名で寄せられています。上司に悩んでいる心の内を話しても、機械的に対応され、悩む前に反省を促されたり、セクハラまがいのことをやられても黙認しなければならない職場状況を訴える内容もありました。

この間、地本は本部と連携を取りながら関わられる場合は、できる力で聞き解決する努力を続けてきています。

パワハラ・セクハラ上司は咎められないのか！？

6月に入り、株主総会も間近に控え、7月1日付けの人事異動を前に、管理者の不適切な行いについての投書もありました。鉄事内でのパワハラ、人には厳しく自分には甘い残業手当、決められた以外の場所での喫煙、そして飲食店でのセクハラなどが書かれていました。会社が機能していれば、本人に対して何らかの対応をしているはずですが、そのような感じはありません。

現場では、箸の上げ下ろしまで事細かく指導しています。最近では、超過勤務手当を付けて面談を行い、勤務時間外の行動まで、あれをしてはいけない、これはしない方がいいなどと話しをしています。現場の社員にばかり労務管理を行うのではなく、労務管理をすることで自分が偉くなったと勘違いしている管理者をしっかり指導しなければ、ますますこの会社はおかしな方向に進んでいきます。

私たちは、泣き寝入りすることをしないように、極限まで追いつめられる前に、また、勘違いしている管理者を追求するために多くの情報を集めています。ぜひ、メール・郵便などを通じ連絡を待ちます。